

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスアウラ		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	始まりの会 帰りの会	活動前の時間、帰る前の時間に全員で着席し今日の活動内容の説明と、今日の活動の振り返りを行っています。お子様が日直となり進行してくれています。	時間管理をお子様主体で行えるように支援していきます。
2	調理実習	調理器具の使い方を教えるだけでなく、最後の片付けまで自分たちで行うように促しています。	メニュー考案から調理までお子様主体で行えるよう工夫した声掛けと支援を行っています。
3	レゴプログラミング	お子様同士で順番を守り、協力して作る等のコミュニケーションをとっている。	レゴプログラミングの難易度を上げ、工夫したり試行錯誤を繰り返していく能力を身に付けてもらえるようにしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、他事業所の交流	法人内の他事業所との交流は出来ているが、その他、地域施設との交流の場を持つべきと考えます。	地域で交流できる場を設けていけるよう、情報収集に努めてまいります。
2	保護者同士の交流	保護者参観日は実施できているが、保護者同士の交流の場が設けられていません。支援スペース以外の場所で保護者様が集まれる場所がないのが大きな原因です。	サービス提供時間前の時間帯での開催を検討し、保護者様にアンケートを取り実施できるようにしていきます。
3	専門性のある支援	理学療法士や作業療法士などの専門的な支援を行える有資格者がいないため、保育目線での支援になりつつあります。	資格者の採用を行い多様な支援ができる状態を整える為、専門的支援が行える職員を増やしていきます。